

もくじ

国際機関ってなに? 4

代表的な国際機関 「国際連合」 6

国連ってなに?

国連の組織はどうなっているの? 8

国連の 6 つの主要機関 10

平和維持に取り組む国際機関 12

紛争のない世界をつくるために 12

●安全保障理事会 14

●国際司法裁判所 18

軍縮を進めるおもな機関 19

ジュネーブ軍縮会議 (CD) / 国連軍縮研究所 (UNIDIR)

技術の平和利用に関するおもな機関 20

国際原子力機関 (IAEA) / 化学兵器禁止機関 (OPCW) /

国連宇宙空間平和利用委員会 (COPUOS)

人権問題に取り組む国際機関 22

世界中にある人権問題 22

●国連児童基金 (ユニセフ) 24

●国連女性機関 (UN Women) 26

●国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR) 28

●国連人権理事会 (HRC) 29

人権問題に取り組むその他の機関 30

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) / 国際労働機関 (ILO)

さくいん 31

こくさいきかん

国際機関ってなに？



●世界共通の目標・SDGs

21世紀の地球は、たくさんの問題をかかえています。たとえば、貧困や飢餓、教育格差、働き方、エネルギー、気候変動、ごみ、紛争など……。これらは、世界中の人たちの暮らしに、大きな影響を与えてています。

こうした問題を解決するため、2015年に行われた「国連持続可能な開発サミット」で、すべての国連加盟国が合意してかかげています。

● SDGs達成に欠かせない「国際機関」

世界全体の問題を解決したり、SDGsのような目標を達成したりするために欠かせないのが、「国際機関」です。

国際機関というと、まずだれもがイメージするのは、国際連合（国連）ではないでしょうか。国連は193か国が加盟し（2021年3月現在）、世界の平和や安全、経済や社会の発展をめざす組織です。

られたのが、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）です。これは、「だれひとり取りのこさない（leave no one behind）」を原則に、持続可能によりよい社会の実現をめざすための世界共通の目標です。具体的には、17のゴール（目標）と169のターゲットを示し、2030年までにそれらの目標を達成することをめざしています。

持続可能な開発目標（SDGs）の17のゴール（目標）

- | | |
|--|--|
| 1 貧困をなくそう
あらゆる場所、あらゆる形態の貧困を終わらせる | 9 産業と技術革新の基盤をつくる
強靭なインフラ（インフラストラクチャー：社会資本）の構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進、およびイノベーション（技術革新）の推進をはかる |
| 2 飢餓をゼロに
飢餓を終わらせ、食料安全保障および栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する | 10 人や国の不平等をなくそう
国内および各国家間の不平等を是正（正しくおすこと）する |
| 3 すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人びとの健康的な生活を確保し、福祉を促進する | 11 住み続けられるまちづくりを
包摂的で安全かつ強靭で持続可能な都市および人間居住を実現する |
| 4 質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的（一部の人などが排除されないこと）、かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する | 12 つくる責任 使う責任
持続可能な消費生産形態を確保する |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダー（社会的な性別による差）の平等を達成し、すべての女性および女児のエンパワーメント（差別的な状態に気づき、変える力を持つこと）を行う | 13 気候変動に具体的な対策を
気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる |
| 6 安全な水とトイレを世界中に
すべての人々の水と衛生の利用可能性と、持続可能な管理を確保する | 14 海の豊かさを守ろう
持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能ななかたちで利用する |
| 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する | 15 陸の豊かさも守ろう
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復および生物多様性の損失を阻止する |
| 8 働きがいも経済成長も
包摂的かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用と、働きがいのある人間らしい雇用を促進する | 16 和平と公正をすべての人に
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する |
| 17 パートナーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップ（地球規模の協力関係）を活性化する | |



国連ってなに？



2度の大戦をへて生まれた国連

世界を代表する国際機関が、「国際連合」(United Nations：国連)です。国連は、いまから70年以上前の1945年10月24日に設立されました。

国連の誕生は、世界平和の実現に失敗した苦い経験にもとづいています。

国連設立の26年前、第一次世界大戦の終わりを受け、国際協力を促進し、平和を確立することを目的に、「国際連盟」と

いう国際機関が設立されました。しかし、それからわずか20年たらずの1939年に第二次世界大戦が発生。国際連盟は平和を維持することができませんでした。

こうして2度の世界大戦という大きな悲劇をへて、世界平和のために改めて国連が設立されました。当初は50か国ほどであった加盟国は、現在、世界193か国におよびます。

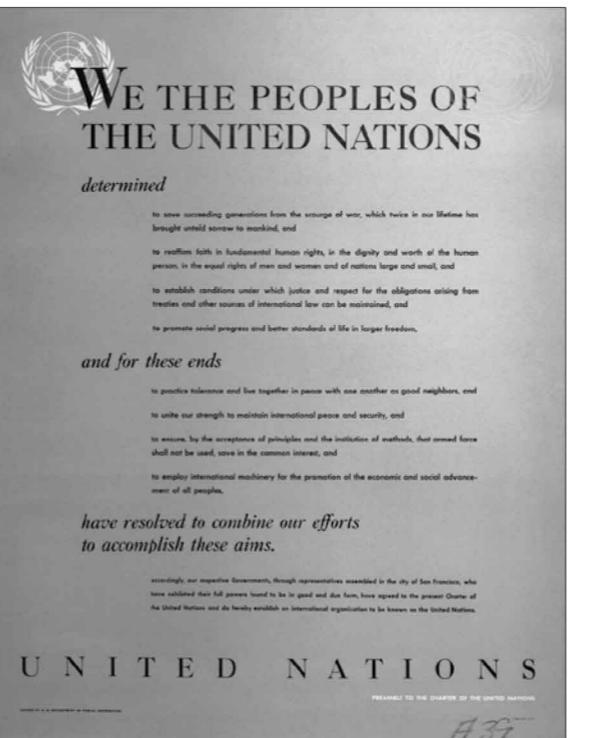


写真: UN Photo

国連がになう2つの大きな役割

国連の第一の目的は、「国際の平和と安全を維持すること」です。これは、20世紀に起こった2度の世界大戦という、人類の悲劇を教訓とした、国連のになうもっとも大きな役割であり、目的でもあります。

次にあげられるのが、経済や社会的な課題の解決のために、国際的な協力を進めることで、SDGsへの取り組みはこれにあたります。

国連憲章の構成と内容

国連の目的や役割、加盟国の権利や義務、さらに国連内の主要機関の手続きなどを定めた基本文書が、「国際連合憲章」(Charter of the United Nations : 国連憲章)です。

この国連憲章は、前文と全19章、111条で構成されています。第1章は国連の目的と原則、第2章は加盟国となるための基準、第3章には国連の6つの主要機関の名前が示されています。

また、国連のおもな活動として、第6章に国同士で紛争が起こったときの平和的解決について、第7章に平和がおびやかされたときの行動（集団安全保障）について記されています。

国連憲章が定める国連の目的

- 国際の平和と安全を維持すること。
- 人民の同権（職業や性別などに関係なく、等しく権利を持つこと）および自決（みずから意思で決めること）の原則の尊重に基づいて、諸国間の友好関係を発展させること。
- 経済的、社会的、文化的または人道的性質を有する国際問題を解決し、かつ人権および基本的自由の尊重を促進することについて協力すること。
- これらの共通の目的を達成するにあたつて、諸国の行動を調和させるための中心となること。